

映画タイアップ記念 11月8日からTwitterキャンペーンを開催！

～「コスタクルーズ」×映画「土竜の唄 FINAL」～

映画ペアチケット、5泊6日 佐世保発着他 日本発着クルーズ旅行を抽選でプレゼント！

ヨーロッパ最大のクルーズ会社、コスタクルーズ（日本支社：東京都千代田区、日本・韓国支社長：浜岡聡一）は、11月19日公開映画「土竜の唄 FINAL」とタイアップし、本日8日から映画タイアップ記念Twitterキャンペーンを開催いたします。



映画「土竜の唄」は、シリーズ累計発行部数947万部を突破するカリスマ的マンガ『土竜の唄』（高橋のぼる氏／週刊ビッグコミックスピリッツ連載）の実写化した映画で、生田斗真さんが演じる玲二が潜入捜査官として、様々な任務に挑戦していくストーリーです。シリーズ3作品目の「土竜の唄 FINAL」は完結作で、クルーズ船を舞台にした笑いあり、涙あり、LOVEあり、の極上エンタメ作品を提供します。

本作品へ製作協力をしたコスタクルーズは、映画タイアップ記念として作品にちなんだ“潜入”をテーマに Twitterフォロー＆RTキャンペーンを開催いたします。抽選で映画ペアチケットやオリジナルグッズ、コスタクルーズ 日本発着のクルーズ旅行をプレゼント。“映画の次は、あなたが船内へ潜入せよ。”

「コスタクルーズ」×映画「土竜の唄 FINAL」映画タイアップ記念 Twitter キャンペーンの概要

キャンペーン対象期間： 2021年11月8日（月）～2021年11月30日（火）

映画公開日： 2021年11月19日（土）

キャンペーン内容：Twitterでのフォロー＆リツイート

コスタ 賞：選べる！2022年コスタクルーズの旅 1組2名様

ムビチケ 賞：映画「土竜の唄 FINAL」ペアチケット 5組10名様

※ムビチケ賞は応募締切を2021年11月12日 23:59といたします

土竜の唄 賞：土竜の唄 賞：映画「土竜の唄 FINAL」オリジナルグッズ（非売品）

ステッカー20名様 / ロングスリーブTシャツ5名様

キャンペーンの詳細はこちら <https://www.costajapan.com/campaigns/mogura-final>

2022年 日本発着クルーズ コスタクルーズの旅

✓佐世保発着《2泊3日で済州島へお手軽スーパーショートクルーズ》

✓佐世保発／那覇着《アジア2カ国をめぐって那覇へ 佐世保～那覇 片道クルーズ》など

イタリアを感じる船内では、本場の料理やリラクゼーション、エンターテイメントなど優美で快適な空間が広がっています。イタリア船籍コスタクルーズのホスピタリティと共にドラマチックな旅をお楽しみください。

■映画「土竜の唄 FINAL」について

警察学校創立以来、最低の成績で卒業。始末書枚数、ぶっちぎりのワーストワン。ちょっぴりスケベだがまっすぐで熱すぎる警察官・菊川玲二（生田斗真）がある日突然、潜入捜査官“モグラ”に任命！日本最凶のヤクザの組織に潜り、トップの轟周宝を挙げる事を命じられる。潜るところまで潜った玲二の最後の任務は、過去最大の取引額6000億円の麻薬密輸阻止！最大のヤマ場の舞台は、“海上の楽園”こと超豪華客船！！そして、現れた最強にして最凶の敵・ラスボスの長男、烈雄!!!謎のフェロモン美女・沙門にハメられ、恋人・純奈との愛の修羅場も訪れ、モグラ史上最悪の危機が襲うなか、果たして玲二は轟周宝を宝箱に入れ、“キング オブ 土竜”となることができるのか!?

そして、魂の兄弟、不死蝶・パピヨンとの関係は!!?

公開：2021年11月19日

監督：三池崇史

脚本：宮藤官九郎

主演：生田斗真

■コスタグループ および コスタクルーズについて

コスタグループは、イタリア・ジェノバに本社を置くヨーロッパ最大のクルーズ会社です。コスタクルーズ、アイダクルーズの各ブランドに属する27隻の客船は、合計で約76,000人の乗客を収容することができ、持続可能なイノベーション基準の元、2021年までに6隻の次世代新造船を導入します。コスタグループは、世界最大級のレジャートラベルカンパニーであるカーニバルコーポレーション&PLCの一員であり、世界有数のクルーズライン9社のポートフォリオを有しています。

唯一イタリアの旗を掲げるクルーズ会社 コスタクルーズは、約70年の歴史と共に、「海の上のイタリア」を体現する 陽気で楽しいイタリアンスタイルの船旅をお届けしてきました。イタリアの価値観を伴う大使として、イタリアの国を代表し行動することは責任と義務であり、常に、お客様を世界で最も素晴らしい場所へとご案内しつつ、お客様と共に5つの大陸における様々な寄港地と文化を発見探求し続けます。コスタクルーズのイノベーションにおけるもっとも重要な要素は、未来の船を設計デザインする際に、環境への負荷軽減、地域の文化発見と貢献、持続可能なシステムの推進を3本柱として取り組んでいます。